

(別添1)

ST Aerospace Services Pte.Ltd. (SASCO) 社
が実施した整備作業に起因する不具合について (概要)

1. 11月24日、全日本空輸(株)(ANA)が運航するボーイング式777型機にかかる重整備後の試験飛行において、乗客用酸素マスクの落下試験をサンプリング検査したところ、乗客の手の届かない位置で止まってしまい、適正に落下しない事例が発生したため、当該機の全ての酸素マスクについて調べたところ、不適切な収納が行われていたため酸素マスクのチューブが絡まり、適正に落下しなかったものと判明。
2. その後の調査で、当該不適切な収納作業が2008年6月～7月に間に、シンガポールに所在するST Aerospace Services Pte.Ltd. (SASCO) 社に委託した整備作業において実施された可能性が高いことが判明したため、同社が乗客用酸素マスクの収納作業を実施した777型機について、不適切な取り付け状態にある可能性が高いと考えられたため、11月26日から28日にかけて、該当する7機の酸素マスクを点検したところ、計3機に不具合があったことを確認。なお、不具合のあったものについては直ちに是正措置を実施。
3. 事実確認のため12月2日から3日にかけてSASCO社に対して立ち入り検査を実施した結果、当時は作業員、作業監督者及び検査員に対する酸素マスクの収納作業に関する訓練は設定されておらず、作業員の能力、訓練受講状況に応じた作業割当て及び作業の実施体制が不明確である等、業務実施上不適切と思われる事例を確認。
4. 認定業務の適切な実施を求めため、業務改善勧告を行うこととし、以下の項目について改善を求めることとした。
 - ・ 本件誤作業の再発防止を図るとともに、その他の作業についても誤作業及び検査時の見落としを防止するために必要な訓練等を設定し、作業員、監督者、検査員等に必要な知識を付与すること。
 - ・ 能力等に応じた作業員のアサインが行なわれるよう作業指示の明確化を図るとともに、正確な作業記録が残るように、制度の再検討を行うこと。
 - ・ 業務規程で定められた作業の実施方法、品質管理制度について、認定事業場全体で統一した運用を徹底すること。